

環境カウンセラー協に

宮城へストロブ

倉敷町家トラスト特別賞

県内のNPO法人を対象とした表彰「おかやまNPOアワード2012」の大賞に、岡山環境カウンセラー協会（岡山市）が選ばれた。3回目の今回は東日本大震災の復興支援への取り組みをテーマに行った。



活動報告を聞き、大賞など決めた「おかやまNPOアワード」の審査会

岡山市内で18日におかやまNPOアワード2012の審査会が行われ、被災地や県内で行ってきた支援、今後の活動予定などを10分程度でプレゼンテーション。5人の審査員が活動の効果や他団体との連携具合など評価し、訪れた市民の投票も反映された。

大賞の岡山環境カウンセラー協会は、津山工業高校の生徒らと宮城県を訪れ、ペレットストーブや生徒らが作った燃料を贈ったことなどを紹介した。特別賞は倉敷町家トラスト（倉敷市）が受賞。吉備

【倉敷町家トラスト】空き家の活用が本来の活動。直した家に福島の人が避難してきたのをきっかけに、倉敷市や企業など4者で「DONATION（どなーしょん）くらしき」協議体を組織し、避難してきた人の自立支援に向けた取り組みなど行っている。3月3日にはシンポジウムを開き、復興支援の在り方を考える。震災1年を前にキャンダルも作った。暗闇を体験して被災地にいるを巡らせてもらうことも、売り上げ（2個セット2000円）の半額を寄付する仕組み。支援継続へ、今後も多くの人が参加できる仕組み作りや情報発信を続ける。

【吉備野工房ちみち】野工房ちみち（総社市）、子ども劇場岡山県センター（岡山市）、0-99おかやまおしえてネット（同）が奨励賞だった。

5団体プレゼン要旨

域にある魅力を掘り起こり現地に届けた。4月中旬して町づくりにつなげるよう支援している。新年度も国に活動を提案するほか、福島県のNPOと連携し、夏に福島の子どもの受け入れを計画している。被災地のことを考えながら意見交換する会もキャラバン形式で岡山市内各地で開く。

【岡山環境カウンセラー協会】環境省登録の環境カウンセラーを中心にNPO代表や学校の先生らが会員となり、環境に関する政策提言など行っている。震災直後、宮城県石巻市などで、地

木質ペレットを贈った。帰国後、市民向け報告会なども開いた。

【子ども劇場岡山県センター】県内には七つの「子ども劇場」があり、舞台芸術の鑑賞やさまざまな体験活動に取り組んでいる。そうした活動に被災地から県内に避難してきた親子を無料で招待している。地域で孤立しないための支援で、心を癒やしたり、知り合いをつくらせたりする機会にしたい。子ども劇場等岡センターは子どもたちの相談を聞く全国統一ダイヤル「チャイルドライン」の活動もしている。被災地をはじめ全国から電話がつながる仕組みになっており、余震が怖いといった声もあった。こんなでいる。

NPOアワードはNPO法人・岡山NPOセンター（同）が主催。多くのNPOに応募してもらおうと毎回テーマを変えて実施している。活動費として大賞に30万円、特別賞に10万円、奨励賞に5万円を贈呈しており、同センターが運用する「おかやまNPOサポート基金」に寄せられた市民からの寄付を充てている。（佐藤貴宏）

【0-99おかやまおしえてネット】乳幼児を持つ親の支援を中心に活動している。4月に不要な本と欲しい本を交換するブックトレードを開催。集まった中から学校図書が小学生向けの200冊を選び、宮城県に送った。今年も市内の公民館と協力して行い、被災地に届ける予定にしている。この冬からは岡山大と連携し小学生に医学について分かりやすく話すセミナーを開いている。参加費の一部を宮城県の「みやぎ子ども育英基金」に寄付している。募金などを通し、子どもたちの中の被災地を思う気持ちも育